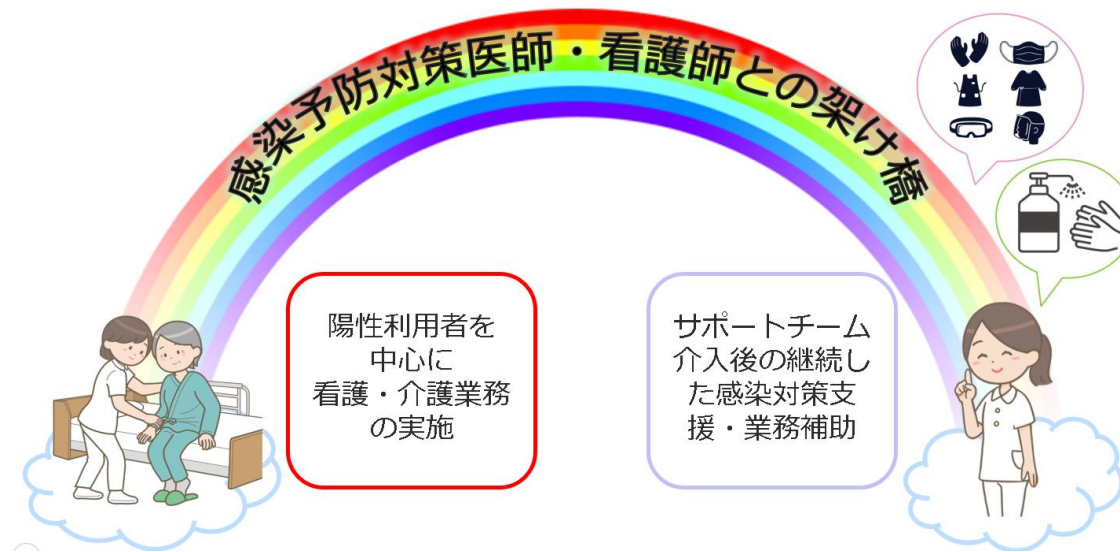


# クラスター発生施設への 看護師派遣で見た施設の状況



2023/06/27

高齢者支援課

看護師派遣チーム

# 看護師派遣

## 目的

### 早期に施設内での医療的対応の強化を図る

- \* 陽性利用者を中心とした看護・介護業務の実施
- \* サポートチーム介入後の継続した感染対策・業務補助
- \* 感染対策の医師・看護師との架け橋の役割を担う

### 基本的にサポートチームが介入した施設へ派遣

- \* 施設スタッフと共に業務を実施
- \* 感染対策の補助
- \* 健康観察の強化
- \* 検体採取
- \* 情報伝達の補助
- \* 医師の指示のもと医療行為の実施

日常業務を確認しながら支援

新型コロナウイルス感染により  
人員不足が発生している施設の方へ

人手が足りない  
職員の見み  
が取れない

## 看護師の派遣について ご案内

京都府事業のため、**無償のサービス**です。

派遣をご希望の施設は…

- 別添 情報確認シート（看護師派遣依頼書）を記入後、メールにてご送付ください。
- 確認後、サポートチームよりお電話にて聞き取りを行い、派遣決定をお伝えします。

**おねがい**

- ・派遣初日は業務確認のため、施設看護師が勤務していただくよう調整をお願いします。
- ・派遣日数は事務局が調整の上、決定します。
- ・派遣期間中に派遣看護師が交代する可能性があります。
- ・医師の指示がない医療行為は行いませんのでご了承ください。

お問い合わせ

京都府施設内感染専門サポートチーム 事務局  
075-414-5307  
[kansensupport01@pref.kyoto.lg.jp](mailto:kansensupport01@pref.kyoto.lg.jp)

京都府ホームページ



# 看護師派遣

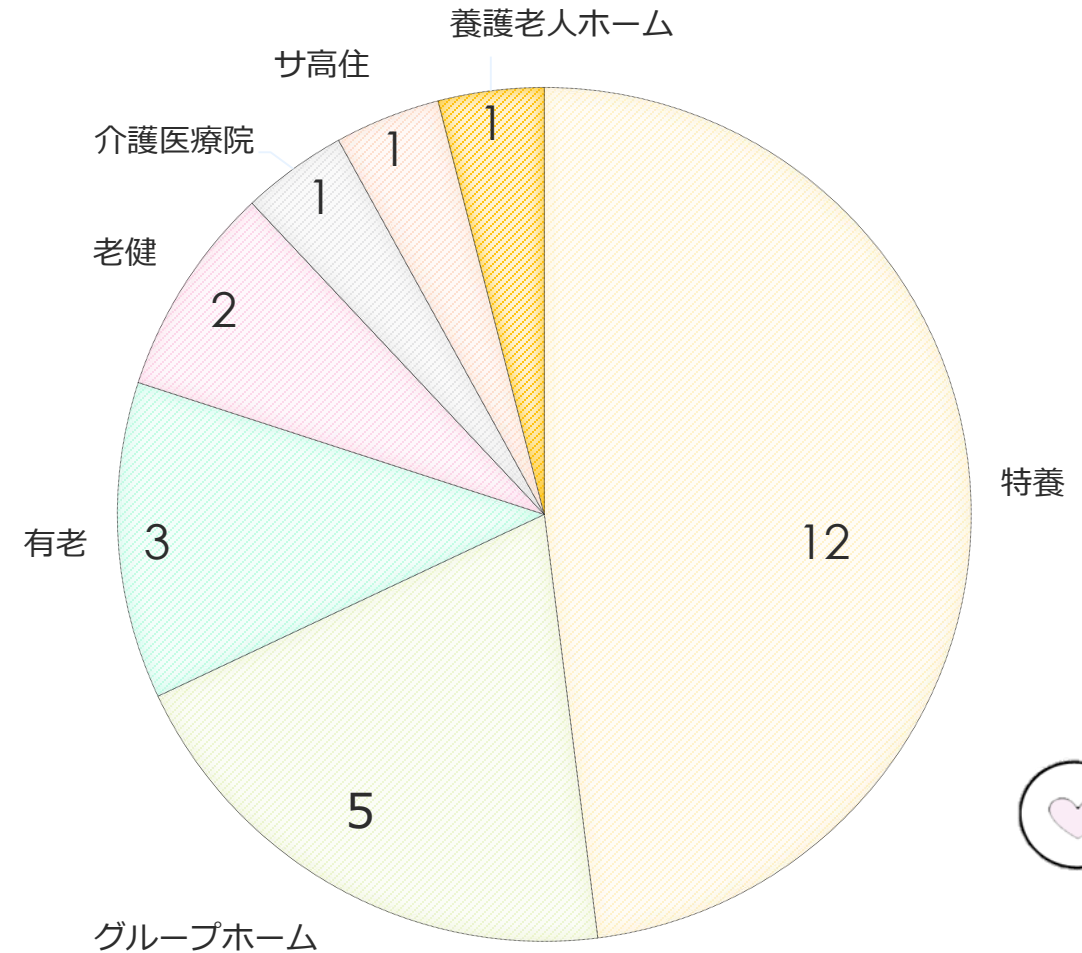
## 活動実績

派遣看護師数 3名（現時点）  
※11月中旬より本格的始動

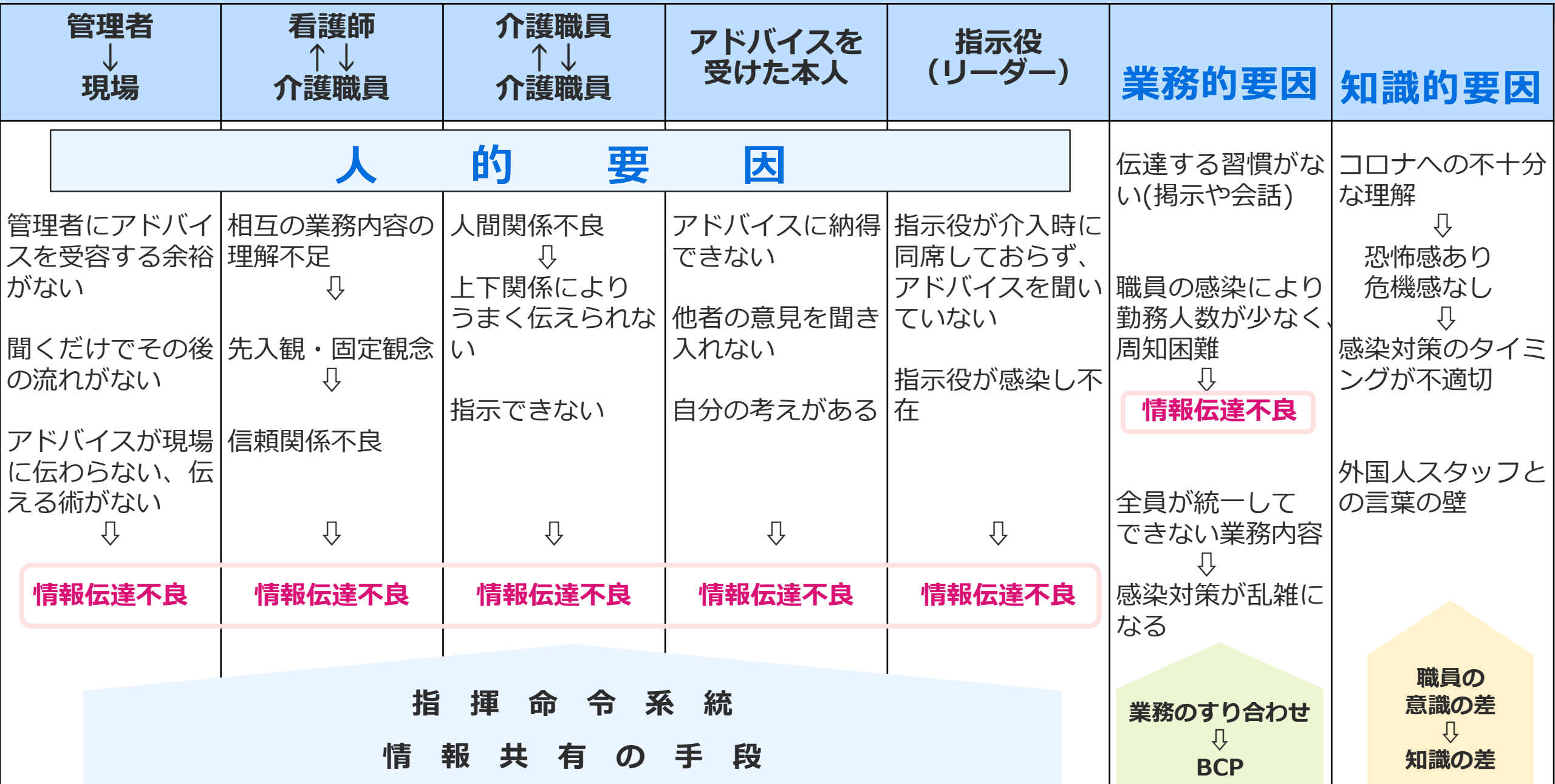
## 看護師派遣実績

	施設数
長期派遣	25
検体採取のみ	7 (特養5、サ高住2)
合計	32

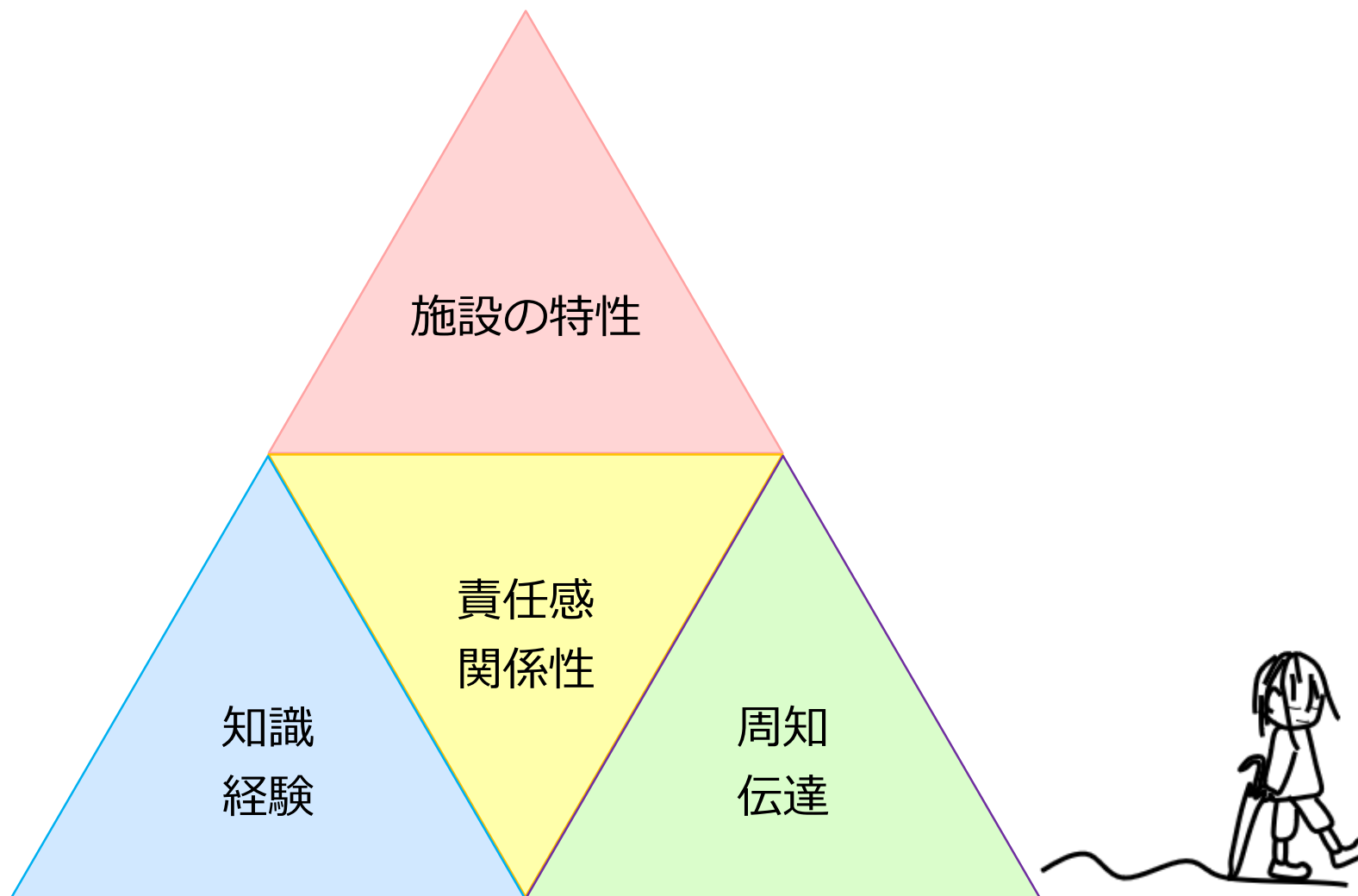
## 長期派遣施設の内訳



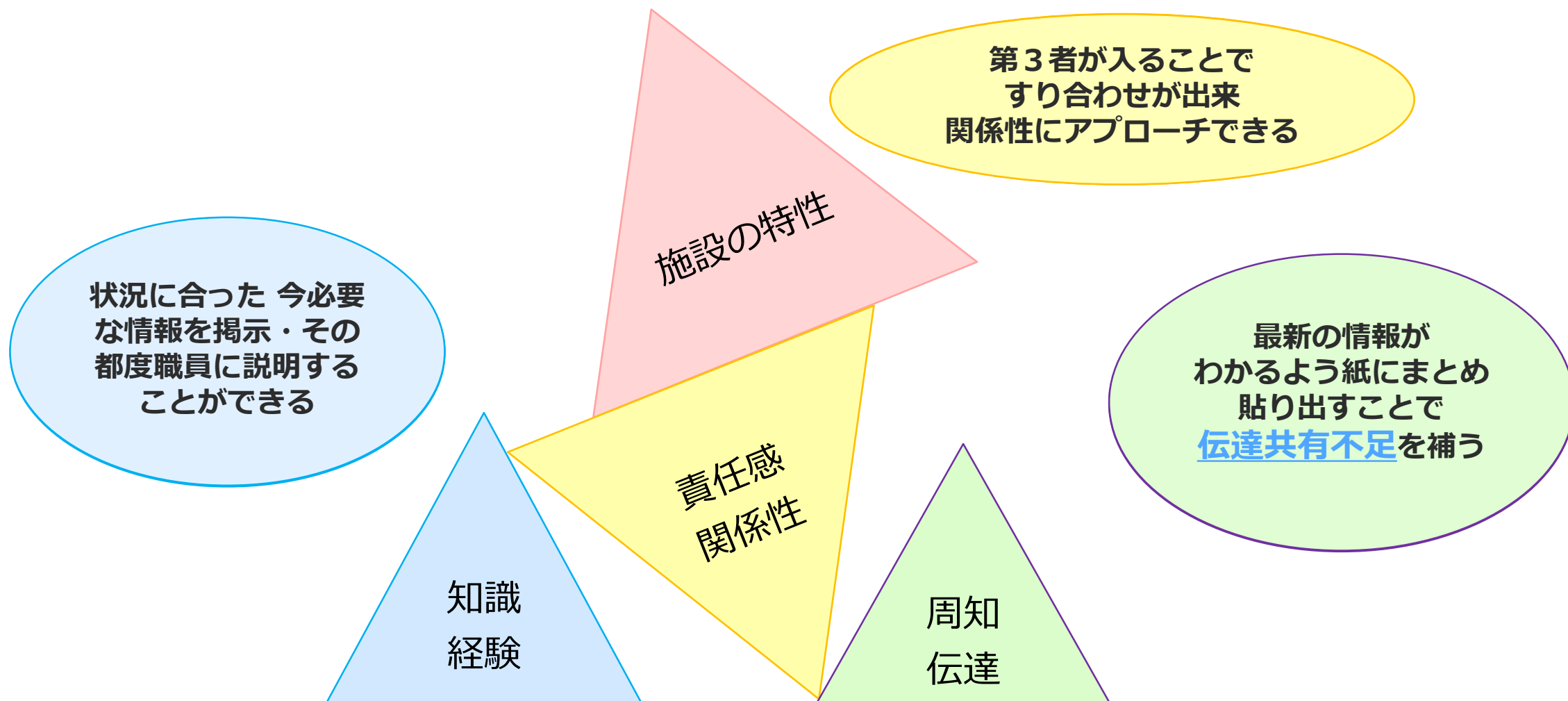
# アドバイスを実践できない要因



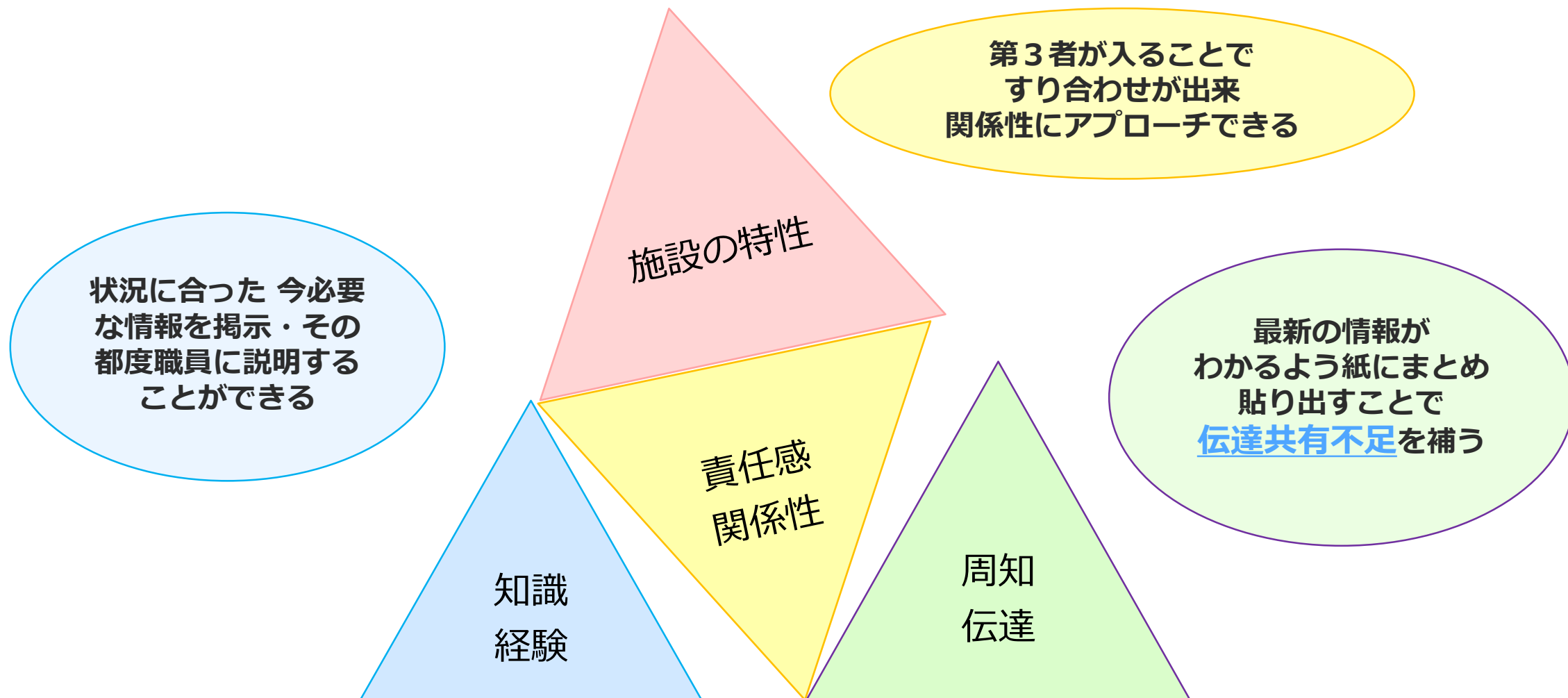
# 派遣チームが感じている事



# 派遣チームが感じている事



# 派遣チームが感じている事





# CASE

- ・ 特別養護老人ホーム
- ・ 今回が初クラスター
- ・ 陽性者数：職員2名利用者14名

—派遣初日—  
初めてクラスターが発生したフロア

濃厚接触者が多数、利用者ごとのガウン交換  
の業務負担が大きく  
ガウンを着回しされてました

⇒ガウンは着回さず、都度交換するよう説明



## ガウンの着るタイミングの周知

各居室の前にガウンの着るタイミング等を図で分かるように提示。

**手指消毒を徹底する**ことに重点を置くような対応としました。



# CASE

ホワイトボードを使用し、

- ・ゾーニング
- ・陽性者/濃厚接触者の隔離期間
- ・要注意者・要観察者
- ・変更になった業務や決定事項を記入しました

★職員自らホワイトボードに追記、更新

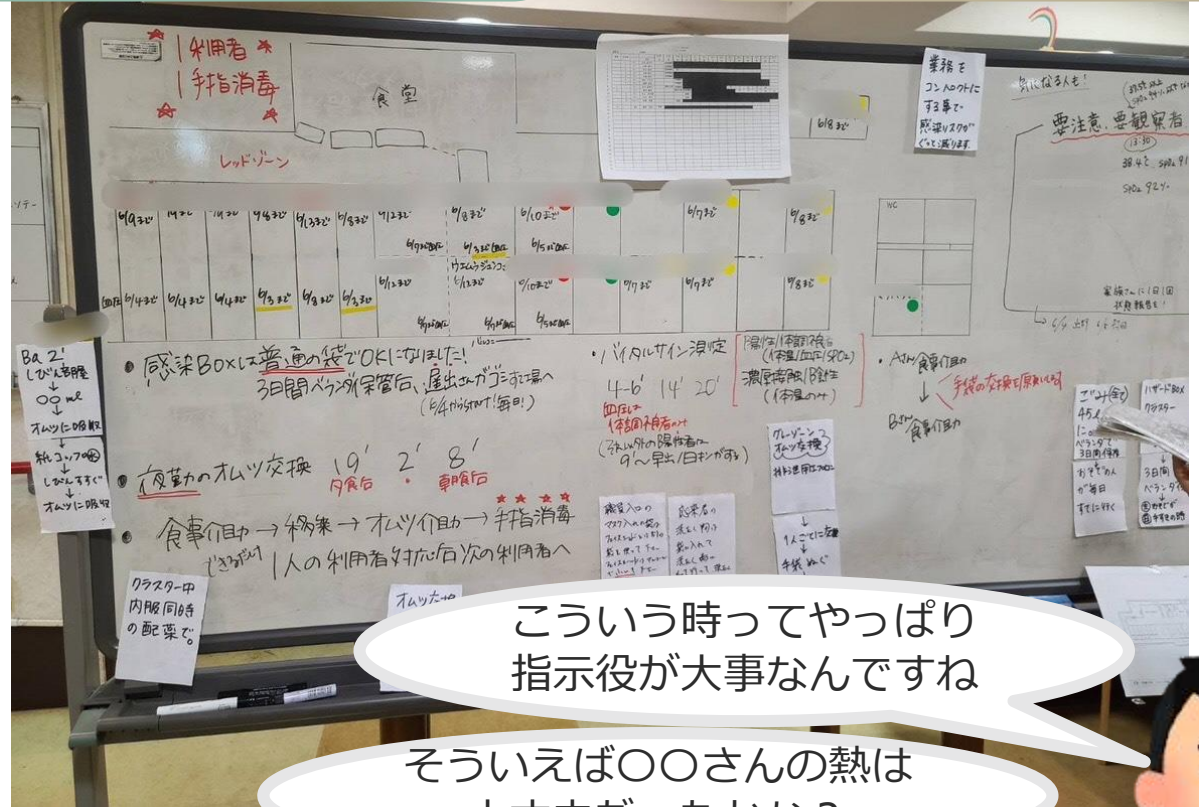
★施設長が追加陽性者をラインリストへ追記しその都度各フロアへ配布

私たちの提案も貼り付け、  
答えをもらうようにしました

もっとわかりやすく周知ができるように

事務局にてラインリストを作成してもらい、情報整理。

指示役から職員へ周知が難しい状況のため、決定事項等を張り、皆が見てわかるように工夫



こういう時ってやっぱり  
指示役が大事なんですね

そういえば〇〇さんの熱は  
大丈夫だったかな？

というような会話も聞けるよ  
うになりました!!!





# 実際に問いかけた提案

## 1 利用者 1 手指消毒

提案  
検温を  
夜勤・日勤で  
測定するのは  
どうでしょう？

日勤で測定すると  
異常の早期発見に  
なります。  
NSへ報告・対応の  
タイムラグを  
減らせます。

4～6時  
検温 14時  
20時  
血压 体調不良者  
発症日～5日間

ごみ（全て）  
45ℓの袋に  
（日付記入）  
ベランダで  
3日間保存  
  
誰が  
いつ  
どこに  
捨てに行く？

遅出が  
毎日  
捨てに行く

濃厚接触者の  
オムツ交換は？

陽性者の  
おむつ交換は？

誰が？

何時に？

1人ごとに交換  
↓  
手袋を脱ぐ  
↓  
手指衛生

夜のオムツ交換  
19時  
2時  
8時

クラスター中  
配膳時  
同時配薬で

提案  
業務をコンパクトにする事で  
感染リスクが  
ぐっと減ります

食事介助後  
↓  
ベット移乗  
↓  
オムツ交換  
↓  
退出

Ba 2時  
しびんは部屋  
○○ml  
オムツに吸収  
↓

紙コップ水  
↓  
しびんすすぐ  
↓  
オムツに吸収  
↓  
捨てる

# 1 利用者 1 手指消毒

## レッドゾーン

Aさん 6/9まで ★★	Bさん 6/9まで	Cさん 6/9まで	Dさん 6/8まで	Eさん 6/13まで ★★★	Fさん 6/8まで	Gさん 6/12まで 6/7まで血圧	Jさん 6/8まで 6/3まで血圧	Kさん	Mさん	Pさん まで	Rさん 6/8まで
Hさん 6/12まで	Iさん	Lさん	Nさん	Oさん 6/7まで	Qさん 6/7まで						

濃厚接触者の  
隔離期間

解除予定日

血圧測定が必要な日

要注意、要観察者の印

変更になったこと

パッと見て分かる  
要注意・要観察者を書き出す

**要注意・要観察者**

Eさん	38.4℃	SpO <sub>2</sub> 91~95%
Aさん		SpO <sub>2</sub> 92%

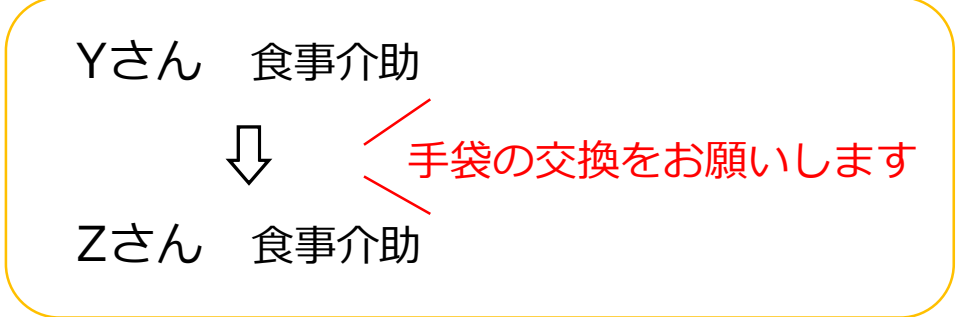
・感染BOXは普通の袋でOKになりました！  
3日間ベランダ保管後、**遅出さん**がゴミ捨て場へ  
(6/4からスタート！毎日！)

・夜勤のオムツ交換 19時 2時 8時  
夕食後 ・ 朝食後

・食事介助 → 移乗 → 排泄介助 → 手指消毒・手袋交換  
できるだけ1人の利用者対応後、次の利用者へ

・バイタルサイン測定  
4~6時 14時 20時  
血圧測定は体調不良者と発症日から5日間のみ  
(それ以外の陽性者は9時~早出/日勤がする)

陽性者/体調不良者  
(体温.血圧.SpO<sub>2</sub>)  
濃厚接触者/陰性者  
(体温のみ)











# 実際のラインリスト

誰がいつ発症して、  
誰がいつ隔離解除なのかが  
わかりやすい

情報共有できるツールとして活用

職員	入所者	ユニット	氏名	年齢	接種回数	5/28	5/29	5/30	5/31	6/1	6/2	6/3	6/4	6/5	6/6	6/7	6/8	6/9	6/10	6/11	6/12	6/13
						日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
	1	西	A子				抗原陽性															
	2	西	B代				抗原陽性															
	3	西	C子				抗原陽性															
	4	西	D子				抗原陽性			救急搬送												
	5	西	E子				抗原陽性															
	6	西	F子					PCR陽性														
	7	西	G助					PCR陽性														
1		西	H子				最終出勤	PCR陽性	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩				
2		西	I男				最終出勤	抗原陽性	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩				
	8	西	J恵					発熱	抗原検査①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩				
	9	西	K子					発熱	抗原検査①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩				
	10	西	L太郎					頭痛	PCR陽性													
	11	西	M子						悪寒	抗原陽性①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩			
	12	西	O子							抗原陽性	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩		
	13	西	P枝							抗原陽性	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩		
	14	西	Q子								抗原陽性	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	

# 情報共有の難しさ...でも一番大切

私たち派遣チームも  
日々感じております...



クラスター中は日々情報が更新されるため短期間での職員間の情報共有が難しい

連絡ノートを使用してもうまく活用できていない施設が多い

看護師、介護士で情報の統一が難しい

そのために

フロア職員が出勤してすぐ情報がわかるようにホワイトボードを使用

ゾーニング図など、図やイラストを使用しわかりやすく。

職員への情報共有が  
スムーズになりました

今回実際に、ホワイトボードを作成したことにより、  
👍 「曖昧」な情報がなくなり混乱していたフロアが  
落ち着いたを取り戻し業務をされました。





# 施設の職員さんの声

クラスターを初めて経験してみても

- クラスター発生から2日間の初期対応が大変だった
- ゾーニングをどうしたらいいか分からなかった
- 陽性者の増加が早く大変だった
- 事前にゾーニングの指導を受けていたが、大人数の発症は初めてであり、活かすことができなかった
- 利用者の急変があり、ショックが大きかった
- 派遣看護師の指導内容は次に活かせることが多くあった

# 施設の職員さんの声

## 現場が落ち着いた理由

- トイレの回数やバイタルサイン測定のタイミングが決まるなど、業務負担が軽減し余裕がでた
- 派遣看護師から感染対策をしっかりしていれば絶対大丈夫と思えるようになったことが安心感につながった
- 手指消毒の徹底（手指消毒が全然できていなかったことがよく分かった）
- ガウンの着脱方法、タイミング、直接介助しないときはガウンの着用の必要がないなどのメリハリのついたことを教えてもらったので、業務負担軽減になった
- レッドゾーンの配膳台、お盆を作ったり、テーブルを使用しフロアのゾーニングをしたり、ゾーニングを可視化できてわかりやすかった

⇒ヒューマンエラーを起こさずに対応できた

業務をいかに減らすことができるのかの提案が気持ちにゆとりが出て、役立った

# 施設の職員さんの声

ホワイトボードを使用してみた

- 情報共有の難しさを痛感した
- 全職員から見やすくとても良かったと意見あり
- ホワイトボード前で毎日申し送りを実施し、情報伝達に漏れがないようにした

他の施設へも共有した方がいいと感じる  
感染対策や体験談

- 細かい業務のチェックを受けることは恥ずかしい、間違っていたらどうしようと思う職員もいたが、早期にクラスターを乗り越えるためには必要であり、ためになった。
- なるべく指示役1人固定して、ホワイトボードの内容など共有すべき内容を確実に伝え、新たな指示役ができるまで連続勤務し、ヒューマンエラーをなるべく起こさないような工夫をした
- 業務負担を減らすことが、ヒューマンエラーを減らすことにつながる

# ホワイトボードに独自で追加した項目

ラインリストが見にくかったため発症日を記入

次回の抗原検査日  
クラスター終息日

外のごみはカラスがつつく可能性があるなどの注意喚起

要注意者の判断に困る職員のために判断基準を記入

指示役を記入

健康状態を毎日報告する必要がある人、報告する職員を記入

清拭など清潔ケアの再開に伴い、清拭の日程を記入

何日の感染ごみを今日ごみに出したらいいかわかりやすく記入

隔離解除になったら、利用者のシールを緑色に変更

食事形態変更者の明記

発熱者がいた時の対応を記入

新しい情報は青で記入し、情報が埋もれないように工夫

今日必要なものは黄色のテープで分かりやすくした